



世界にひとつ  
豆本百人一首完成

田中 美和子さん  
(西宮の沢在住)



▲下の句に加え作者のイラストもアクセントに



▲マッチ箱に納まる大きさほどの田中さんオリジナルの豆本の数々

色とりどりの和紙の表紙が美しい、手のひらに収まる100冊の豆本。この豆本1冊に、小倉百人一首に収められた和歌一首が14ページにわたり、その歌の意味や背景、用語の解説などとともに書かれています。

この豆本を半年がかりで一つ一つ手作りの田中さんは、西宮の沢在住の田中さんです。もともと絵を描くことが好きだった田中さんが、手作り絵本と出会ったのは10年ほど前。友人から製本の仕方を学んで以来、ユーモアに溢れる絵と内容が特徴の、オリジナルの豆本をいくつも作成してきました。

そんな田中さんが今回の大作に挑んだのは、「子どものころに親しんだ百人一首の歌の意味を、大人になってから知りたいと思ったことがきっかけ」と話します。「作業は100冊という数の多さに加え、和歌の世界を理解するのに時間がかかりましたが、完成が待ち遠しかったので夢中でした」と話します。また、こだわりは北海道特有の木札に書かれた下の句をその書体のとおり1ページに転記したこと。一首一首意味を理解しながらの心を込めた作業により、世界に一つだけの豆本集が完成しました。

編集 手稲区役所総務企画課広聴係

ホームページ「ていねっていいね」<http://www.city.sapporo.jp/teine/>

〒006-8612 札幌市手稲区前田1条11丁目

☎681-2400内線224 FAX681-6639